



世田谷古地図



代田まちづくり協議会提案の「代田地区まちづくり計画」をもとに、まちを点検して、気づいた点を今後の地区街づくり計画につなげていきます。様々な視点でまちを確認していきましょう。

### 【まちあるきの流れ】

■ A～B間のポイントを確認後、Bに向かいます。Bでは、A～B間の振り返り、次のCのポイントを確認します。



□ 気づいたことは職員へお伝えください。  
※小さいことでも何でもOKです！

□ 気になった箇所は写真で記録！（任意）

※写真は右の投稿サイトへの投稿にご協力をお願いします。区・協議会の活動で活用させていただきます。  
※写真の撮影時は、一般歩行者・個人宅等が映らない工夫や、撮影写真の取扱いにご配慮をお願いします。



### 【注意事項】

□ 車・自転車等に十分注意するとともに、一般歩行者・自転車等の通行の妨げとならないようにご配慮をお願いします。  
□ 個人住宅や敷地内には立ち入らないようにしてください。

## 代田まちづくり協議会 提案 【代田地区まちづくり計画】

### 計画の性格・目標年次

代田1～6丁目を対象とし、区及び地区住民が協力して進めるまちづくりの将来像や基本方針、実現のための方策を示し、今後、概ね10～20年を目処とした中長期の計画を基本とし、可能な事項については短期的に実現を図る計画。



### まちづくりの将来像と基本方針

#### ■ 代田の歴史・文化・環境を愛し、誇れるまち

- ① 代田の由緒ある地名や史跡の継承
- ② 富士山の眺望を活かしたまちづくり
- ③ 質の高い街並み景観の実現
- ④ 日常生活における環境保全・衛生環境の向上

#### ■ すべての人が住みやすく、憩えるまち

- ① 緑化の推進
- ② 身近な公園・広場の充実
- ③ 高齢者の歩歩きやすく憩える環境づくり
- ④ 住民相互のコミュニケーションの充実

#### ■ 安全で快適な住居環境が確保されるまち

- ① 住まい方のマナーの啓発
- ② 良好な住環境の保全
- ③ 災害等に強いまちづくりの推進
- ④ 防犯まちづくりの推進

#### ■ 住民が安全に移動できるまち

- ① 歩行者・自転車にとって安全な道路
- ② 生活道路の安全対策
- ③ 分かりやすく安全で快適な道路づくり
- ④ 自転車の安全な走行環境の整備
- ⑤ 歩道橋の設置・改修

#### ■ 駅周辺のにぎわいと交通の利便性を享受できるまち

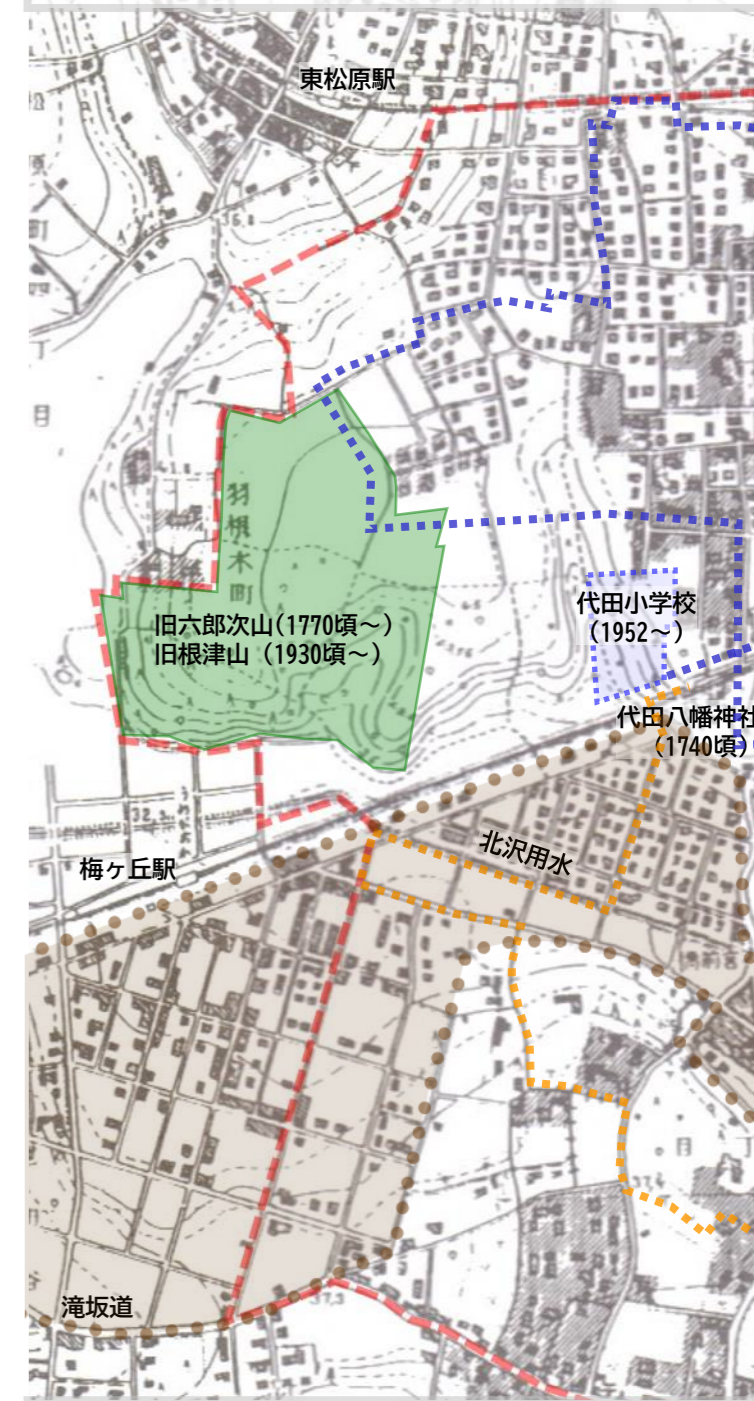
- ① 世田谷代田駅前の整備・活用
- ② 新代田駅前の整備
- ③ バス路線の充実
- ④ 賑わいの空間としての商業空間の充実

### 【代田の歴史】

世田谷城城主吉良氏朝の家臣であった「代田七人衆」がこの地に帰農し、開墾したのが始まりと伝えられています。かつての「代田村」は、現在の代田と大原のほか、代沢の一部の飛地にも及んでいました。

その後、明治22年の市町村制により「世田ヶ谷村」に合併された際には、「大字代田」として、本村(本村、花見堂、栗原、砂利場、宮前)、中原(吹上、宮ノ上、中丸、西丸、守山)、大原、下代田の4つの地域に分けられていました。

昭和39年の住居表示の実施により、本村、中原を中心に、現在の代田1～6丁目となりましたが、かつての地名が今も随所に残っています。



### 【代田の地名の由来】

昔、現在のまもりやまテラス付近の窪地のことを大男「だいだらぼっち」の足跡と呼ぶようになり、「だいだらぼっち」が変化し、「だいた」となったという説が有力だと考えられている。

昭和14年 (1939)

## ■まちあるきの視点

歩きやすい、住みよいまちに向けて、  
街の「良い・気になるところ」を見つけよう！！

良いところ

➔ 継承したい風景、自然、施設、活動 など

気になるところ  
(危険・課題)

➔ 改善のための工夫やアイデアはあるか？

工夫  
されているところ

➔ 緑の使い方、空間の工夫、一休みの場所 など

A ~ B

### ■駅前広場（ダイダラボッチ）

住民ワークショップの提案から、代田の由来である『ダイダラボッチの足跡』をモチーフにして設計した広場。富士山が見える眺望ポイント。



### ■環状七号線の壁画

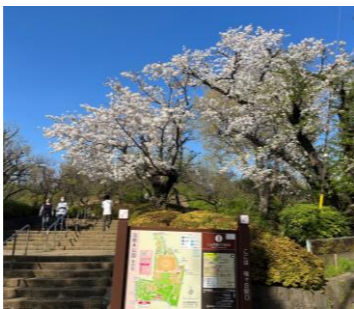
2017年に地域住民が中心に「世田谷代田ミライ壁画プロジェクト」として、落書きが絶えなかった擁壁に図柄等を描き、現在も定期的に補修を行っている。



B ~ C

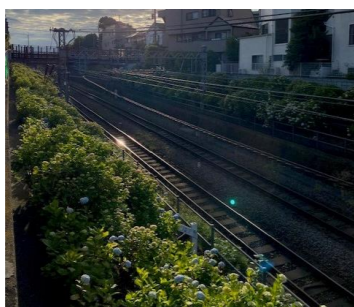
### ■羽根木公園 (せたがや百景)

都内有数の梅の名所。1700年頃は鍛冶屋の六郎次が住んでいたことから「六郎次山」、根津嘉一郎の所有時代は、「根津山」と呼ばれていた。



### ■アジサイの綺麗な線路沿い

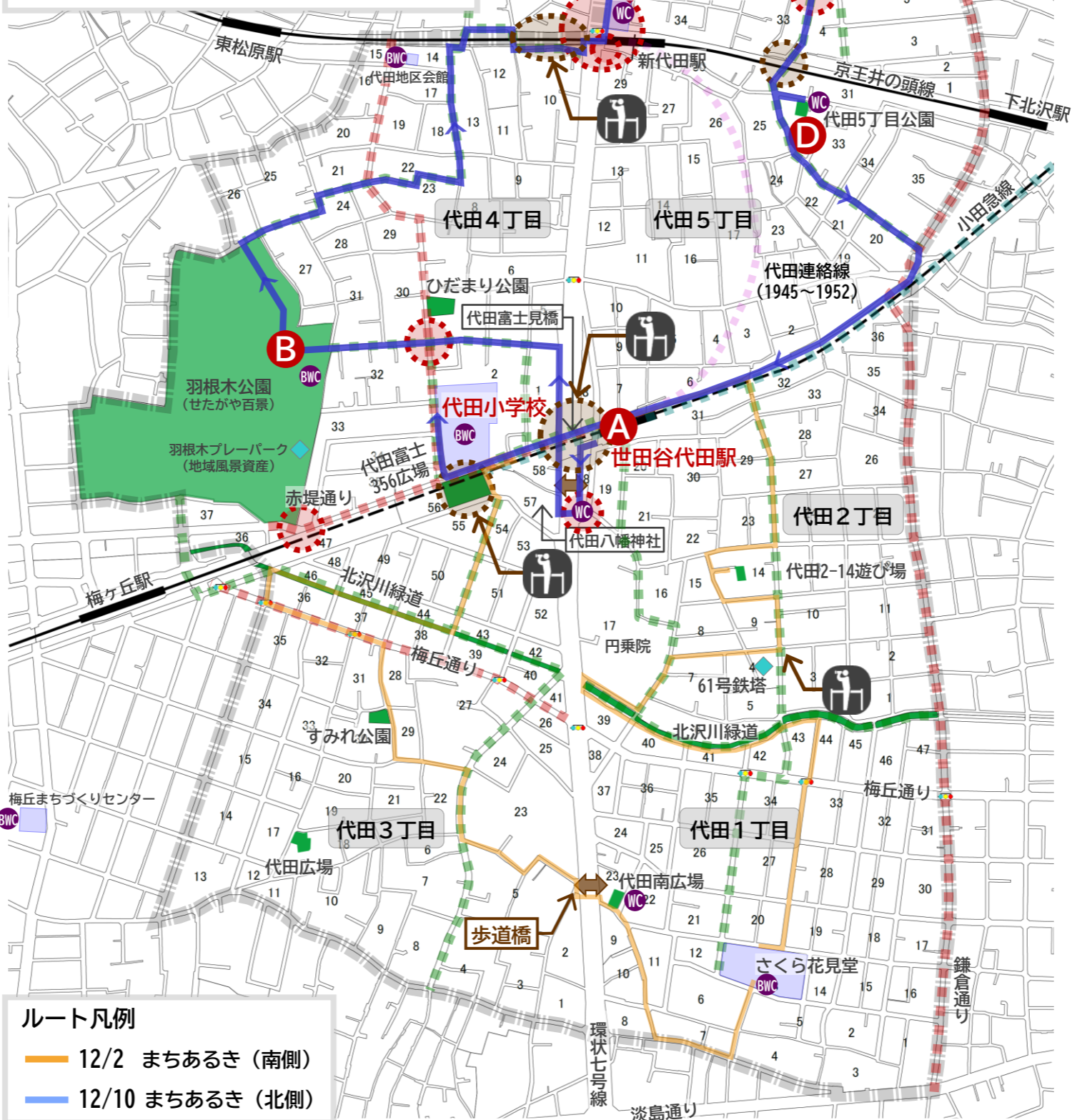
京王井の頭線沿線には、約24,000株のアジサイが植えられている。羽代橋からは、アジサイの中を走る電車の風景が見られる。



## 〈代田地区まちづくり計画付図：凡例〉

- 地区街づくり計画検討区域
- 散策ルート案
- 安全性を改善すべき道路
- 小田急線上部利用
- 保全すべきポイント
- 改善すべきポイント（危険な交差点等）
- 公共施設（小学校・小学校跡地等）
- 公園・広場

※環状七号線：歩道における自転車歩行者の安全確保



### ルート凡例

- 12/2 まちあるき（南側）
- 12/10 まちあるき（北側）

## ■代田区民センター

図書館、児童館、会議室、音楽室、多目的室等からなる複合施設として、2014年にオープン。サイン等は障害当事者と検討して設計された。



C ~ D

### ■まもりやまテラス

旧守山小学校の建物を活用して、地区会館、保育所、まもりやま工房からなる複合施設として2019年にオープン。「運営会議」を通じた地域の自発的な活動により、テラスの賑わいをつくっている。



### ■ダイダラボッチの足跡伝説

1927年に、民俗学者の柳田国男がこの地を訪れた際に、古老の話を聞き、窪地となっていた湧水池一帯を「ダイダラボッチの足跡」と広めたとされている。

D ~ 代田小学校

### ■代田連絡線

1945年の戦火で大半の電車が被災した帝都線(現京王井の頭線)に電車を送り込むため、代田二丁目(現新代田)駅と、世田谷代田駅を結ぶ線路が急遽敷設された。当初は、電車を人力で移動させたと言われている。(痕跡なし)

### ■代田富士見橋

当初十分な広さがなかった代田歩道橋を、小田急線の地下化に伴い、2014年に架橋。公募で募った候補名を地域住民の投票で選定。

### ■代田富士356広場

地域の方々とワークショップで作り上げたプラン。広場の名称は、富士山の眺望及び住居表示の語呂合わせのアイデアから命名された。



### ■赤堤通り